

質問書に対する回答

(件名) インターネットハイウェイラジオ構築業務

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	要件定義書 19ページ 図表 E-ハイラジのアーキテク チャ要件定義書 21ページ 4.3. ネットワーク・通信の方針	クラウド専用線の設置について、「論理的なクラウド専用線を用いた閉域ネットワーク網による通信を行う」とあります。関東支社では既設中央局システムとの通信が発生するため専用線の設置が必要と認識していますが、他の支社はE-ハイラジ操作卓と E-ハイラジ放送文サーバ間の通信のみを想定しており、中央局システムとは接続されない認識です。E-ハイラジ操作卓については通信の暗号化によりセキュリティを担保でき、専用線と比較しランニングコストを下げるメリットもあることから、閉域の専用線でなくVPN接続としたいと考えますが問題ないでしょうか。	問題ありません。要件定義書のとおり論理的なクラウド専用線を用いた閉域ネットワーク網※で接続してください。 ※VPNも含まれます。
2	要件定義書 21ページ 4.3. ネットワーク・通信の方針	「クラウド専用線の設置にあたり、中央局のネットワーク・機器構成（契約後、発注者より開示予定）を参照のうえ、E-ハイラジのネットワーク構成を設計し、規模・性能要求を満たす帯域の確保、および、プロバイダー選定・契約を受注者にて行うこと。」とありますが、中央局に設置するクラウド専用線用のルータは中央局の仕様開示後でないと見積が困難のため設計変更にて追加となる解釈でよろしいでしょうか。	ルータは本業務には含みません。別途工事を予定しております。
3	要件定義書166-168ページ 9. 非機能要件	(1)データ件数、(2)利用者数、(3)処理件数、(4)データサイズについて平均と最大値の記載があります。クラウドのリソースについてはクラウドの自動拡張機能の使用を含めて、部分引渡し時点での運用範囲における最大値に対応可能な性能を常時確保することが必要と考えてよろしいでしょうか。 また従量課金のクラウド利用料や回線使用料は、前提によって各社の乖離が大きくなり公平性に欠けることから基準が必要と考えます。常時最大値で接続されることは考えられにくいいため、平均値に基づいて見積を算出する認識でよろしいでしょうか。	クラウドのリソースはそのとおりです。 従量課金の利用料等は性能を満足する必要があることから要件定義書に記載の最大値で算出してください。従量課金部分は契約締結後、監督員との協議により決定いたします。